

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 平成20年4月施行			
総合計画	大項目	基本目標	06 健全で自立したまちづくり
	中項目	基本施策	01 簡素で効率的な行政運営
	小項目	施策	05 財政(税務関係)
事務事業名		08	後期高齢者(長寿)医療保険料賦課調査事業

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	後期高齢者医療保険へ加入する予定のすべての方
目的(何のために)	高齢者の医療の確保に関する法律及び備前市後期高齢者医療に関する条例に基づき、正確な賦課補助事務を行うことによって、後期高齢者医療保険制度の安定的な運営を図ります。
行政活動(どのような方法で)	加入者の資格情報や所得情報を正確に把握送付し、広域連合が賦課作業を行った後に納付通知書を発送しています。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	的確な事務処理を行い、適正事務処理率を100%に近づけることを成果と考えています。

事業の実績				
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
被保険者数	人			0
必要人員	人	0.25	1.903	0.91
事業費	千円	0	1,903	6,194
国・県・市・支	千円			
受・益・者・負・担				
総・入・金				
市・他(手数料)				21
一・般・財・源		0	1,903	6,173
受・益・者・負・担・比・率	%			

結果指標				
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
被保険者数	人			0
対前年対比	%			
活動コスト	円		1,903,000	6,193,630
単位当たりコスト	円	#DIV/0!	#DIV/0!	1,029

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
適正事務処理率	目標値(A)		100	100	100
	実績値(B)		100	100	到達目標年度
達成率(B/A) #DIV/0! 100.0% 100.0% 毎年度					
成果指標設定の考え方・式や説明					
(1 - $\frac{\text{処理誤り件数}}{\text{処理件数}}$) × 100		(1 - $\frac{0}{6,019}$) × 100 = 100 20年度実績			
精度の高い事務処理を目指すため、この指標にしております。					

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさず <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識	
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input checked="" type="checkbox"/> 説明 保険利用者から絶対的なニーズがある	判定理由・課題認識
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	判定理由・課題認識	
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	判定理由・課題認識

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	結果指標量②			成果指標量	
	1,000				100	
状況		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合
				○		
説明	制度施行から1年を経て、制度がようやく安定してきたと感じています。しかし、特別徴収の選択制(年金額18万円未満の方)や被用者保険の本人を被用者保険に残すことなど課題(検討事項)もあるため、今後の動向をみながら引き続き適正な事務処理の執行を行ってまいります。					

総合評価		評価区分<A~E>
法定事務のため、この業務を廃止することはできません。今後の制度改正の内容を確認しながら、安定した処理率の維持に努めていく必要があります。		B

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合
				○		
説明	制度内容を確認しながら、安定した処理率の維持に努めていく必要があります。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
有効性	効率性	保険料計費の基となる所得情報が不明なケースを探し、簡易申告書などで所得の把握を行います。	H21年度中	適正事務処理率及び収納率の向上が図れます。		
	効率性	クレームについて、被保険者の立場から分析を行い、マニュアルを作成します。	H21年度中	適正事務処理率及び収納率の向上が図れます。		